

授業科目名	基礎看護学実習Ⅰ	担当教員	教授 福間美紀 他		
開講年次及び学期	開講年次を2年前期に変更する	必修・選択の別	必修		
開講形態	実習	時間数	45	単位数	1
授業の目的（概要）					
<p>看護学原論で学んだ知識を踏まえ、療養生活を送る人との対話及び看護活動の観察を通して、自己や対象者の理解を深める。また、看護の場面を見学し対象者との関わりを通して、援助関係のあり方及び看護の役割について考え、今後の学習活動の動機づけの機会とする。</p> <p>島根大学医学部附属病院にて臨地実習を行う。実習期間は1週間とする。実習期間中は、実習記録やカンファレンスおよび教員との意見交換を活用し、自らの思考・感情・行動を言語化し、自己理解や他者理解を進める。また、全体討議での意見交換は、学生間の学びの共有だけでなく、視点の広がりや学びをを深める機会として活用する。</p>					
学修成果（到達目標）					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職としての基本的態度および臨地実習における学習方法を身につける。 2. 看護の基盤となる対象者との援助的関係形成のための力を培うことができる。 3. 療養の場にいる対象者の身体的・精神的・社会的状況について理解し、看護のあり方について考えることができる。 4. 療養の場における看護の役割について考えることができる。 					
キーワード					
看護、人間、健康、環境、生活、看護実践、援助関係					
授業の進め方					
臨地実習、グループディスカッション、全体討議、リフレクション					
成績評価の方法（合否基準）					
課題レポートの評価、実習内容、実習記録の評価、最終レポート、個人面接の振り返りの総得点を100点満点に換算したうち60点以上を合格とする。					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					
<p>教科書：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初日、別冊「臨地実習の手引き 基礎看護学実習Ⅰ」を配布する。 ・各自、「看護学原論」「援助関係論」のテキストと配布資料、活用すること。 					
オフィスアワー					
<p>福間美紀（基礎看護学講座）</p> <p>質問等は随時受け付けますのでメールにてアポイントをとること</p> <p>Email: mk8592@med.shimane-u.ac.jp</p>					
モデル・コア・カリキュラムとの関連					
<p>A-1 プロフェッショナリズム</p> <p>A-1-1) 看護職としての使命、役割と責務</p> <p>A-1-2) 看護の基盤となる基本的人権の理解と擁護</p> <p>A-1-3) 看護倫理</p> <p>A-2 看護学の知識と看護実践</p> <p>A-2-1) 学修の在り方</p> <p>A-2-2) 看護実践能力</p> <p>A-3 根拠に基づいた課題対応能力</p> <p>A-3-1) 課題対応能力</p>					

授業計画

回	日程	場所	テーマ	授業内容	担当者
0	未定	未定	身だしなみ、ユニフォームについて		実習委員会
1	未定	未定	事前のオリエンテーション、課題ビデオ視聴		福間・坂根
2	未定	未定	個人情報保護に関する研修		医療情報学講座
3	未定	未定	オリエンテーション	臨地実習全体のオリエンテーション (実習の意義、目的、4年間の展開、手続き)	実習委員会
4				基礎看護学実習 I のオリエンテーション	福間
5・6	未定	未定	オリエンテーション	基礎看護学実習 1 における危険予測トレーニング	福間
7・8		未定		医学部附属病院のオリエンテーション ・オリエンテーション ・附属病院見学	福間
9・10	未定	未定	実習	13:30～ 附属病院でのシャドイング実習 15:00～ カンファレンス	福間
11・12 13・14	未定			午前：受け持ち患者実習前オリエンテーション 午後：受け持ち患者実習 15:00～ カンファレンス	福間
15・16 17・18	未定			9:30～ 受け持ち患者実習 15:00～ カンファレンス	福間
19・20 21・22	未定			午前；カンファレンス 午後：発表準備、発表会	福間
23	未定	未定	リフレクション	面談	福間
備考					